

2022 年度 ハラスメント防止委員会企画講演

性の多様性に関する施策調査を踏まえた 大学のあり方と直面する課題

| | |
|------|-----------------------|
| 企画 | ：日本教育心理学会 ハラスメント防止委員会 |
| 話題提供 | ：風間 孝（中京大学） |
| 指定討論 | ：金子雅臣（職場のハラスメント研究所） |
| 司会 | ：芳川玲子（東海大学） |

企画趣旨：

今回は、教育の場でも議論されることが多くなってきた性の多様性に焦点を当てることとした。教育現場における性の多様性への対応については、文部科学省が 2015 年 4 月に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」（文部科学省，2015）と題する通知を各都道府県教育委員会に出し、性同一性障害のある児童生徒への対応にあたっての具体的な配慮事項を示したところから始まった。大学などの高等教育機関における性の多様性への対応についても 2018 年 12 月、日本学生支援機構が教職員向けの啓発のために「大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて」（日本学生支援機構，2018）と題する資料を出してから数年が経つが、果たして性の多様性について各大学の学生や教職員はどの程度認識し、必要な配慮がどの程度行われているだろうか。今回の企画では、長年にわたり性の多様性に関する研究に従事され、「大学における性的指向・自認（Sexual Orientation and Gender Identity: SOGI）に関する施策および取り組みに関する全国調査」を実施したグループのリーダーである中京大学の風間 孝先生に講演を、そして職場のハラスメント研究所長の金子雅臣先生に指定討論をお願いした。講演を通して大学の今後のあり方および課題について討議を深めたい。